

---

## 雑 報

---

## ◇最終講義について

高橋 明郎

日 時：令和6年1月26日(金) 13:00~14:30

場 所：DRI棟第11講義室

題 目：「中国研究から台湾研究へ」

## ◇所員の海外渡航

原 直行

目 的：地方観光開発、フードツーリズム、グリーンツーリズムに関する資料収集

渡航先：台湾

期 間：令和5年11月1日~11月8日

高橋 明郎

目 的：演習・個別演習受講生の現地指導及び現地研究者との面談

渡航先：台湾

期 間：令和5年11月2日~11月9日

渡邊孝一郎

目 的：香川大学生プロモーションプロジェクトの現地活動のため

渡航先：韓国

期 間：令和5年12月12日~12月14日

朴 恩芝

目 的：研究関連資料収集、現地調査

渡航先：韓国

期 間：令和5年12月14日~12月19日

姚 峰

目 的：国際研究教育交流とインバウンド調査

渡航先：中国

期 間：令和5年12月20日~12月29日

二ツ山達朗

目 的：科研費若手研究の研究課題遂行のための調査

渡航先：チュニジア

期 間：令和5年12月22日～令和6年1月9日

## 香川大学経済学会正会員・特別会員学外研究業績一覧

(2023. 1～2023. 12)

氏名	著書名・論文名・学会発表テーマ等	発行所名・発表誌名・発表学会名・発表年月
沼田 秀穂	<p>Effect of brand engagement and loyalty programmes on Japanese fashion companies' financial performance</p> <p>(学会発表)「キャリア育成から見た音声教育研究－アナウンススクールの事例－」</p> <p>(学会発表)「地域医療機関情報に関する研究～医療機関選択における情報の重要度と広告規制認知を中心に～」</p> <p>(学会発表)「香川県民の選好するカーボンニュートラルロードマップについての考察」</p>	<p>(with Miao Miao, I Go, Linyuan Cui, Kayo Ikeda), 2023 GLOBAL MARKETING CONFERENCE AT SEOUL 2023年7月21日</p> <p>(鴨居真理子(筆頭著者)) 第37回日本音声学会全国大会, 2023年9月17日</p> <p>(池田佳代(筆頭著者), 苗苗) 2023年度 社会情報学会 (SSI) 学会大会, 2023年9月17日</p> <p>(白石沙織(筆頭著者)の共著) 2023年度 社会情報学会 (SSI) 学会大会, 2023年8月16日</p>
板谷 和彦	<p>(学会発表)「経済成長とフロントランナーの試行錯誤」</p>	<p>研究・イノベーション学会, 第38回年次学術大会, オンライン開催, 2023年10月</p>
藤村 和宏	<p>『便益遅延型サービスのマーケティングの方向性を探る——教育サービスと医療サービスの比較を通じて』</p>	<p>(小林哲・川島隆志・磯田友里子・高室裕史と共著), 千倉書房, pp. 1-50, pp. 51-122, 2023年3月</p>
三好 秀和	<p>「資産形成コンサルタント」</p>	<p>ときわ総合サービス, pp. 179-199, pp. 223-240, pp. 241-266, pp. 267-273, pp. 274-277, 2023年12月</p>
西中 美和	<p>Exploring the perceptions and attitudes of residents at modern art festivals: The effect of social behavior on support for tourism</p> <p>Science Fiction Prototyping Method Improves Readers' Narrative Experiences</p>	<p>(with Masuda, H. &amp; Frochot, I.) Journal of Destination Marketing &amp; Management, 30, 100818, pp. 1-11. Dec. 2023. <a href="https://doi.org/10.1016/j.jdmm.2023.100818">https://doi.org/10.1016/j.jdmm.2023.100818</a></p> <p>(with S. Kiyokawa (1st author), D. Miyamoto, Y. Namba, T. Minegishi, R. Miyata, and H. Osawa) IIAI Letters on Informatics and Interdisciplinary Research, 3, Knowledge, Information and Creativity Support Systems, pp. 1-8, Feb. 2023, (Outstanding Paper Award). <a href="https://doi.org/10.52731/liir.v003.072">https://doi.org/10.52731/liir.v003.072</a></p>

氏名	著書名・論文名・学会発表テーマ等	発行所名・発表誌名・発表学会名・発表年月
	<p>Evaluating Sci-fi Readers' Perspective : Correlation between Immersive Emotion and Speculative Factors</p> <p>(学会発表) Comparative Study of Roadmapping and Sci-fi Prototyping Methods to Develop a Knowledge Management Framework</p> <p>(学会発表) 『SF プロトタイピングは作品の社会的影響力を高めるか?』</p> <p>(学会発表) 『保育者が認知する「気になる子ども」の行動特性と早期支援-SDQに基づく調査からの考察-』</p> <p>(学会発表) 『他者理解に関する先行文献における示唆と課題の提示』</p> <p>(学会発表) 『影響力の分散による発想支援』</p> <p>(学会発表) 『現場における「視点活動」の意義に関する考察』</p> <p>(学会発表) 『SF プロトタイピングワークショップにおける発話の分析』</p> <p>(学会発表) 『プロジェクトにおける知識統合と信頼および能力の関係に関する考察』</p>	<p>(with Y.Namba (1st author), S. Kiyokawa, D. Miyamoto, T. Minegishi, R. Miyata, and H. Osawa) IIAI Letters on Informatics and Interdisciplinary Research, 3, Knowledge, Information and Creativity Support Systems, pp. 1-11, Feb. 2023. <a href="https://doi.org/10.52731/liir.v003.062">https://doi.org/10.52731/liir.v003.062</a></p> <p>(with Kunio Shirahada, Yusuke Kishita, Hisashi Masuda, Hideaki Takeda, Dohjin Miyamoto, Hirota Osawa) Proceedings of PICMET (Portland International Center for Management of Engineering and Technology), pp. 1-11, July 2023. <a href="https://doi.org/10.23919/PICMET59654.2023.10216877">https://doi.org/10.23919/PICMET59654.2023.10216877</a></p> <p>(清河幸子(筆頭), 宮本道人, 難波優輝, 峯岸朋弥, 宮田龍, 大澤博隆と共著) 第40回日本認知科学学会大会予稿集, pp. 321-324, 2023年9月(福井麻紀(筆頭)と共著) 第40回日本認知科学学会大会予稿集, pp. 535-538, 2023年9月</p> <p>(佐藤隆広(筆頭), 山本靖と共著) 日本システムデザイン学会第4回研究大会, 2023年9月</p> <p>第37回人工知能学会全国大会, 企画セッション: 人工知能と虚構の科学, 2023年6月</p> <p>(佐藤隆広(筆頭), 山本靖と共著) プロジェクトマネジメント学会春季研究発表大会予稿集, pp. 450-461, 2023年3月</p> <p>(峯岸朋弥(筆頭), 大澤博隆, 宮本道人, 藤本敦也と共著) プロジェクトマネジメント学会春季研究発表大会予稿集, pp. 695-706, 2023年3月</p> <p>プロジェクトマネジメント学会春季研究発表大会予稿集, pp. 7-15, 2023年3月</p>

氏名	著書名・論文名・学会発表テーマ等	発行所名・発表誌名・発表学会名・発表年月
岡田徹太郎	(学会発表) 『サービス・ケイバビリティと信頼』	(増田央(筆頭)と共著) サービス学会 第11回 国内大会, 2023年3月
	(シンポジウム発表) Study on Modeling of Residents' Perceptions and Attitudes Using Sustainable Tourism Indicators in Social Exchange Theory Context : Working Paper	Sustainability & Tourism Session in The 2nd Trilateral Symposium on SDGs, Aug. 2023
	(招待講演) 『考え方の変化による地域の変化: 金沢と香川』	トランスフォーマティブ知識経営シンポジウム「次世代の知識経営を考える」2023年1月
	(記事) 『地方において求められる地域づくりの新たな試み』	(福武總一郎(筆頭), 増田央と共著) サービスロジー特集「地方の活性化」, サービス学会, pp. 1-6, 2023年4月
	「アメリカにおけるアフォーダブル住宅に対する支援政策」	日本都市計画学会編『都市計画』365号, pp. 44-47, 2023年11月
	「居住保障の国際比較-アメリカ事例からみるその意義と課題」	経済理論学会編『季刊 経済理論』第60巻第3号, pp. 30-36, 2023年10月
山崎 隆之	「道の駅」の施設整備における地域特性に関する研究-施設機能, 駐車場台数, 登録年の分析から-	第38回日本観光研究学会全国大会学術論文集, 日本観光研究学会, pp. 183-188, 2023年12月
張 暁紅	「国共内戦下の工業化-哈爾濱・瀋陽を移動する軍需生産」	松本俊郎編『「満洲国」以後-中国工業化の源流を考える』第2章, 名古屋大学出版会, pp. 70-87, 2023年2月
	「旧日系企業の再編と『南廠北遷』-瀋陽・哈爾濱の重工業化の新展開」	松本俊郎編『「満洲国」以後-中国工業化の源流を考える』第5章, 名古屋大学出版会, pp. 136-165, 2023年2月
	「旧日系企業の下請から新中国の担い手へ-瀋陽における中国機械企業の変容」	松本俊郎編『「満洲国」以後-中国工業化の源流を考える』第6章, 名古屋大学出版会, pp. 166-194, 2023年2月
	「急がされた社会主義改造-加工訂貨の効用と瀋陽・哈爾濱」	松本俊郎編『「満洲国」以後-中国工業化の源流を考える』第8章, 名古屋大学出版会, pp. 247-281, 2023年2月

氏名	著書名・論文名・学会発表テーマ等	発行所名・発表誌名・発表学会名・発表年月
緒方 宏海	<p>(学会発表)「中国東北における私営工業の社会主義改造-長春・瀋陽・哈爾濱・鞍山の公私合営化を事例に-」</p> <p>(報告要旨)「綿業と機械器具工業の発展からみた「満洲国」期の奉天の工業化」</p> <p>『辺境からの中国-黄海島嶼漁民の民族誌』</p>	<p>2023年度社会経済史学会全国大会パネルディスカッション⑦, 九州大学・西南学院大学, 2023年5月28日</p> <p>『日本植民地研究』第35号, pp.47-50, 2023年6月</p> <p>風響社, 2023年3月</p>
山ノ内健大	<p>“Dissimilar FTA Strategies of Japan and the U. S.: An analysis of the product-specific rules of origin”</p>	<p>(with Mitsuyo Ando, Shujiro Urata) Asian Economic Papers, 22(3), pp. 97-126, 2023年10月</p>
福村 晃一	<p>(ワーキングペーパー) Migration under Imperfect Skill Evaluation</p>	<p>SSRN, pp. 1-18, 2023年3月 <a href="https://ssrn.com/abstract=4404224">https://ssrn.com/abstract=4404224</a> or <a href="http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4404224">http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.4404224</a></p>
水野 敦洋	<p>(学会発表) Effect of evaluation cost on agglomeration</p> <p>(学会発表)「戦前期日本マッチ産業の国際展開-製造業者と貿易商社の関係に着目して-」</p> <p>(学会発表)「神戸におけるゴム製品工業と海外輸出-1920~30年代を中心に-」</p>	<p>第37回応用地域学会, 大阪大学豊中キャンパス, 2023年12月</p> <p>2023年度日本華僑華人学会研究大会, 2023年10月</p> <p>2023年度社会経済史学会中国四国部会大会, 2023年12月</p>

## 第 96 卷 総 目 次

### 〈第 1 号〉

#### 雑 報

### 〈第 2 号〉

#### 論 説

プレミアム・マス・マーケティングの可能性

—— 伯方塩業の事例を中心として —— ……………大 崎 孝 徳…( 1 )

満州事変直前期における大連華商の経営規模と地域分布 ……張 曉 紅…( 21 )

政府統計の集計データからみる集客エンタメ産業 ……………早 木 祥 夏…( 47 )  
 森 貞 誠  
 山ノ内 健 太

#### 雑 報

〈第3号〉

論 説

格付が重視する財務指標：

格付アクション別の格付リリースの頻出語分析 …… 繁 本 知 宏…( 1 )

株式評価モデルと格付が用いる財務情報の異同に

関する考察 …… 繁 本 知 宏…( 47 )

Les aides à domicile d'origines *africaines* en région parisienne :

déclassement et difficile professionnalisation …… SONOBE Yuko…( 85 )

Technology versus Skill as a Competitive Advantage in Retail

— A Case Study of Eyewear Retailers — …… Myungrae Cho…(121)

Koichiro Watanabe

Masao Mukoyama

報 告

「香大発・多文化共生プロジェクト」

2022年度活動報告 …… 園 部 裕 子…(141)

雑 報

## 〈第4号〉

## 論 説

経済成長を議論するための3つのステージに

関する試論

—— 経済成長モデルとイノベーションの橋渡し —— ……………板 谷 和 彦…( 1 )

女性役員の登用と経営者予想

—— 女性役員比率を用いたパイロット調査 —— ……………朴 恩 芝…( 15 )  
松 岡 久 美

TCFD 開示の意義に関する考察 ……………朴 恩 芝…( 39 )

社債投資家の視点に立った会計研究の意義と論点 ……………繁 本 知 宏…( 59 )

公共職業安定所の非常勤職員

—— 平成 21 ～ 24 年度 —— ……………長 山 貴 之…( 87 )

商店街におけるオンラインツアーの可能性

—— 商連かながわの事例を通して —— ……………渡 邊 孝一郎…(113)

## 研究ノート

コロナ禍を契機として誕生した

「オンラインツアー」の盛衰 ……………山 崎 隆 之…(135)

## 雑 報

---

## 執筆者紹介

板谷和彦	香川大学地域マネジメント研究科教授
朴恩芝	香川大学経済学部教授
松岡久美	香川大学経済学部准教授
繁本知宏	香川大学経済学部准教授
長山貴之	香川大学経済学部教授
渡邊孝一郎	香川大学経済学部准教授
山崎隆之	香川大学経済学部准教授

---

# 香川大学経済学会正会員・特別会員 (五十音順)

## 〈正会員〉

青海緒繁 高辻朴原福二 松宮森山 姚  
木野方本橋 村山岡島貞崎  
宏晋宏知明梨恩直晃達久美 隆  
之悟海宏郎花芝行一朗美花誠之峰  
天大冲向張長朴久藤古水宮安山横  
△  
谷杉 山 松原川野脇井内山  
研奉公 晁貴鏡博敦尚敦秀敏健佳  
一代祐渝紅之杓之志幸洋貴晃太充  
井岡加園趙西早笛藤星水持山湯渡  
◎  
◎  
◎  
△  
上田藤部 成木木村野野田口浅邊  
善徹美穂裕命典祥琢和良康めぐみ美馬孝一郎  
弘太郎子来久夏治宏明一み美馬一郎

## 〈特別会員〉

板島西三 谷根中好 和哲美秀 彦哉和和  
大長沼最 崎町田上 孝康秀英 德平穂明  
佐中原吉 藤村 澤 勝正真康 典伸志代

(◎印は会長, ○印は理事, △印は監事)

## 香川大学経済論叢 第96巻 第4号

2024年3月1日発行

代表編集者 岡田徹太郎  
発行人 香川大学経済学会  
高松市幸町2番1号  
(〒760-8523)  
印刷所 セキ株式会社  
松山市湊町7丁目7-1

編集所 香川大学経済研究所  
TEL 087(832)1950  
FAX 087(832)1952

# THE KAGAWA UNIVERSITY ECONOMIC REVIEW

---

VOLUME XCVI

MARCH 2024

NUMBER 4

---

## Articles

- An Attempt Study on Three Stages for Discussing Economic Growth  
—— Bridging Economic Growth Models and Innovation —— ···*Kazuhiko Itaya*··· ( 1 )
- Study on the Relationship between  
the Appointment of Female Board Members  
and Management Earnings Forecast ···········*PARK, Eunjee*··· ( 15 )  
*MATSUOKA, Kumi*
- Considerations on the Significance  
of TCFD Disclosure ···········*PARK, Eunjee*··· ( 39 )
- Issues of Accounting Research from the Perspective  
of Corporate Bond Investors ···········*Tomohiro Shigemoto*··· ( 59 )
- Non-regular Workers of Public Employment Security Office  
in Fiscal Years 2009-2012 ···········*Takayuki Nagayama*··· ( 87 )
- Possibility of Online Tours in Shopping Streets :  
Through the Case Study of Shōren Kanagawa ···*Koichiro Watanabe*··· (113)

## Note

- The Rise and Fall of “Online Tour” that Emerged  
during The Coronavirus Pandemic ···········*Takayuki Yamazaki*··· (135)

## News

---

EDITED BY

THE INSTITUTE OF ECONOMIC RESEARCH

AND PUBLISHED QUARTERLY BY

THE ECONOMIC SOCIETY

KAGAWA UNIVERSITY

TAKAMATSU, JAPAN